



令和元年度事業報告および令和2年度の取組について

令和元年度事業報告

1 エイジフレンドリーパートナーづくり推進事業

(1) 現在の登録事業者数

令和元年度は9事業者・団体の新規登録があり、令和2年2月14日現在で107事業者等が登録をしている。

【登録数の推移】

年度	H27	H28	H29	H30	R1
事業者数	24	68	81	100	107

(2) 事業報告

ア 認知症サポーター養成講座の開催

エイジフレンドリーパートナーの取組として本講座の受講を掲げている事業者等を主な対象として、12月13日（金）に中央市民サービスセンターで開催した。

参加者数：17名（13事業者）



イ エイジフレンドリーパートナーPR番組の制作

広報広聴課に依頼し、エイジフレンドリーパートナーの取組を紹介するテレビ番組を制作した。

【番組内容】

- ・エイジフレンドリーパートナー研修会について
- ・伊藤工業株式会社および株式会社こすもす秋田の取組紹介

【放送回数】

- ・令和元年11月24日 ABS：こんにちは秋田市から
27日 AAB：いきいき秋田市から
- ・令和2年1月8日 AKT：こんばんは秋田市から
- ・秋田市 エイジフレンドリーシティ Facebook への掲載

ウ エイジフレンドリーパートナーPRポスター作成

エイジフレンドリーパートナーづくり推進事業について広く市民に周知するとともに、パートナー数の増加を図るためPRポスターを作成。パートナー事業者に配布したほか、市庁舎、図書館などの公共エリア等に掲示し、市民や事業者に向けた周知活動を行った。

【作成数】 400枚

【配布先】 各市民サービスセンター、市立図書館などの公共エリアおよびパートナー事業者

エ その他

- ・商工会議所の所報およびホームページにパートナー事業者募集記事を掲載
- ・「コインバス資格証明書」提示による特典があるパートナー事業者の取組についてチラシを作成（コインバス資格証明書の手続き時およびシニア映画祭で配布）

(3) 総括

今年度は、新たにエイジフレンドリーパートナーPRポスターを作成したほか、市政テレビ番組でのパートナーの取組紹介や商工会議所の所報およびホームページにおけるパートナー事業者募集の記事の掲載など、パートナー事業に関するPR強化を図った。

その結果、秋田市と連携してエイジフレンドリーシティの推進を図るコンサルタント事業者が登録したほか、生活支援サービスを行う学生団体が登録するなど、新規分野や幅広い年代への広がりが見られた。

来年度も、引き続き認知症サポーター養成講座やパートナー研修会を開催し、既存パートナーの取組の充実を図るとともに、広報あきたやホームページ、SNSなどの広報媒体を活用し、積極的なPR活動を行っていく。

2 エイジフレンドリーシティ推進事業

(1) 東京大学高齢社会総合研究機構（東大IOG）との共同研究

ア 生活支援コーディネーターおよび協議体の活動支援

平成27年度から行ってきた「地域の支え合い体制づくり」は、東大IOG特任講師の後藤純氏を講師に迎え、市内18箇所の地域包括圏域において設置された生活支援コーディネーターおよび協議体の委員を対象とした研修会を3回に渡って開催した。

これにより地域における居場所づくりが進んでおり、来年度以降の事業の

拡充につなげることができた。

イ エイジフレンドリーシティ推進戦略づくりワークショップ～西部地区編～ における学術支援

3回にわたって開催するワークショップのプログラム作成のほか、各種データの集計や参加者の発表に対する総括など、ワークショップ全般について助言をいただいている。

【今後の予定】 3回目 令和2年3月17日（火）

(2) 第17回ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合への出席

厚生労働省大臣官房国際課より本市におけるエイジフレンドリーシティの取組についての発表依頼があり、令和元年12月4日（水）、名古屋市内において開催された標記会合へ出席した。

【会合の概要】

ア テーマ

「健康長寿を実現する社会の構築に向けて」

イ 参加者

ASEAN10カ国の社会福祉政策担当行政官、保健政策担当行政官、雇用政策担当行政官および日本、中国、韓国の行政官等

ウ 会合における本市への評価

本市の取組は、インフラの整備だけではなく、コミュニティデザインとの両面においてしっかりとしたビジョンを打ち出し、かつ、あらゆる主体とそのビジョンを共有している点が非常に優れているとの高い評価を受けた。



(3) 総括

西部地区において開催している「エイジフレンドリーシティ推進戦略づくりワークショップ」では、昨年度開催した中央地区とは異なる、西部地区固有の課題やアイデアが数多く出されている。本ワークショップは、来年度も北部・河辺地区において開催する予定であり、住民からの貴重な提言として、令和3年度に策定する第3次行動計画に反映していきたい。

また、国内外からの視察・講演依頼に対しても積極的に対応し、引き続き本市の取組の周知に努めたい。

3 エイジフレンドリーシティ普及啓発事業

(1) エイジフレンドリーシティカレッジの開催

開催日	テーマ・講師	内容	来場者
11/12	「1階づくりはまちづくり～地方都市におけるグランドレベルのつくり方～」 講師：田中 元子 氏（株式会社グランドレベル 代表取締役社長）	市民によるまちづくり、市民が集う居場所づくりについて	77名

(2) エイジフレンドリーシティ通信の発行

- ・作成部数 139,000部（全戸配布：137,740部）
- ・発行予定日 令和2年3月6日（金）

(3) 総括

エイジフレンドリーシティカレッジでは、20代から40代までの参加者が約64%を占め、これまでよりも若い世代に対して、エイジフレンドリーシティの周知を図る良い機会となった。また、参加の理由としては、講師への関心や、市民によるまちづくり、エイジフレンドリーシティへの興味などが挙げられ、講演の満足度は95%以上と好評だった。

引き続き、多くの方に関心を持ってもらえるよう、講演会や研修会等の内容を工夫して、エイジフレンドリーシティの取組を発信するとともに、広報あきたやホームページ、SNS等各種情報媒体を活用し、エイジフレンドリーシティの理念の普及啓発に努めていきたい。

4 高齢者生活支援情報提供事業

冊子「秋田市暮らしに役立つサービス」の発行

- ・作成部数 20,000部（市の施設や地域包括支援センター等に設置）
- ・発行予定日 令和2年2月末
- ・サービス件数 17サービス
- ・掲載事業者数 前年度と同等の事業者数を掲載予定（前年度141事業者）
- ・新規掲載内容 「住民による自分たちのための居場所（サロン）」における取組事例において、新たに立ち上がったサロンを加え、紹介数を増やして掲載。また、「エイジフレンドリーパートナー登録事業者・団体一覧」について、これまでの業種別から地域別に変更して掲載

令和2年度の取組について

1 エイジフレンドリーシティ推進事業について

(1) 秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画推進委員会の開催（年3回予定）

(2) **新規**エイジフレンドリーシティ市民意識調査

令和3年度に策定する「第3次秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画」の基礎資料とするため、市民意識調査を実施

(3) エイジフレンドリーシティ推進戦略づくりワークショップ

北部地区および河辺地区において開催予定

(4) **新規**シニア情報ポータルサイト構築支援事業

アクティブシニアを対象とした情報を集約した「シニア情報ポータルサイト」の構築を目指す(株)ALL-A^{※1}と「(仮称)シニア情報ポータルサイト運営協議会」を立ち上げ、官民協働により魅力的かつ効果的にシニア世代へ情報発信を行い、ICTを活用した高齢者の新たな社会参加の場を創出する。

※1 (株)ALL-A 平成31年4月1日設立。民間3社が運営し、本市、秋田大学高齢者医療先端研究センターおよび東大IOGと連携してエイジフレンドリーシティの実現を目指す。

2 エイジフレンドリーパートナーづくり推進事業について

エイジフレンドリーパートナー研修会を開催し、産学官民の共創やシニアビジネスに関する知識を深めるとともに、意見交換などを通し、他事業者・団体との連携強化を図る機会とする。

3 エイジフレンドリーシティ普及啓発事業について

エイジフレンドリーシティカレッジの開催や、通信の全戸配布、竿燈まつり等でのPR活動を行うほか、高齢者の元気づくりのため、身近な楽しみを増やす機会として、引き続き年2回、シニア映画祭を開催する。

4 高齢者生活支援情報提供事業について

冊子「暮らしに役立つサービス」の内容を更新し、20,000部を発行する。